

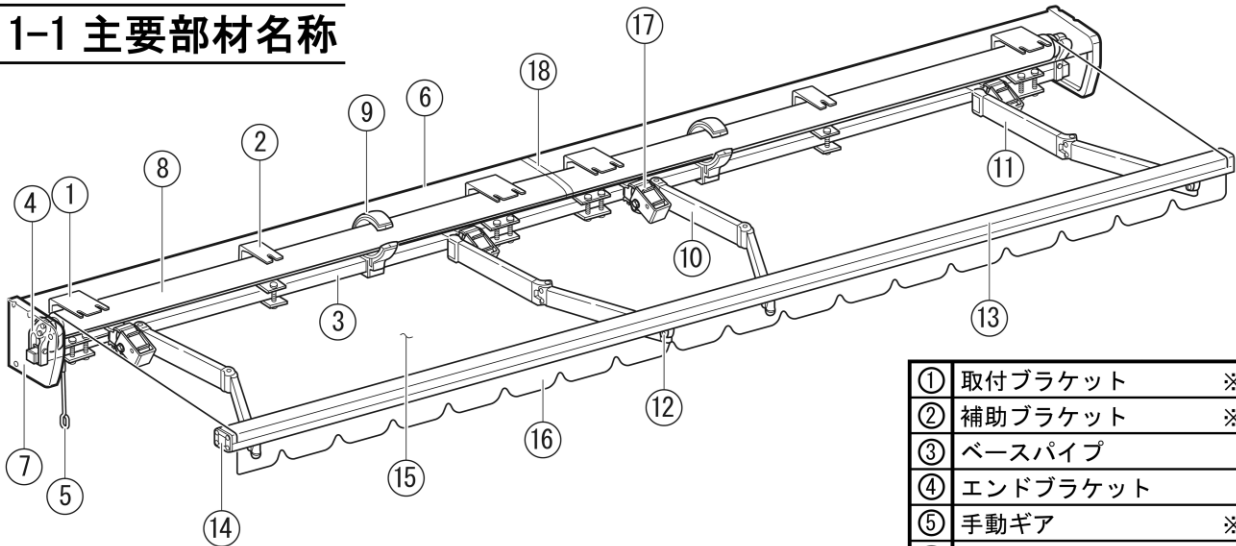
このたびは株式会社テンパルのロールオーニング・エルバーネ《NSマキシム・スタンダード》をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

取り付けに際しては、本書を十分にお読みいただき、手順及び方法に必ず従って施工していただきますよう、お願いいたします。また誤った組み立て、取り付けによる破損、事故等に関しては保証の対象となりませんので予めご了承下さい。なお、詳しくは別冊テクニカルマニュアルを参照して下さい。施工完了後、添付の取扱説明書に必要事項を記入し説明の上、ご使用者又はお施主様へ必ず手渡して下さい。

1

基本構成

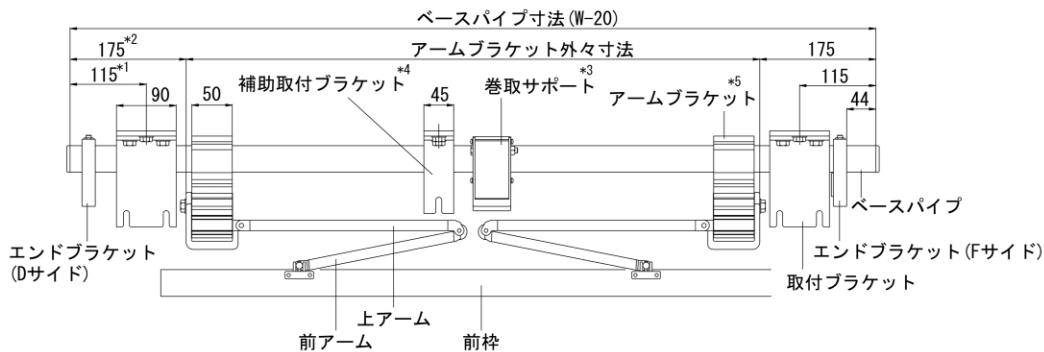
1-1 主要部材名称



①	取付ブラケット	※1
②	補助ブラケット	※2
③	ベースパイプ	
④	エンドブラケット	
⑤	手動ギア	※3
⑥	上ケース	※4
⑦	ケース側板	※5
⑧	巻取パイプ	
⑨	巻取サポート	※6
⑩	左アーム	※7
⑪	右アーム	※7
⑫	前枠金具	
⑬	前枠	
⑭	前枠キャップ	
⑮	キャンバス	
⑯	フリル	
⑰	アームブラケット	※8
⑱	上ケースジョイントカバー	※9

- ※1. 取り付け方法によって、壁付用、上ケース用、天井付用の3種類の設定があります。
- ※2. 間口規格によっては、使用しない場合もあります。
- ※3. 手動ギアは手動タイプでの設定です。その他に電動、電手動タイプの設定もあります。
- ※4. 上ケースはオプション設定です。
- ※5. ケース側板は上ケースのセット部品です。
- ※6. 間口規格によっては、使用しない場合もあります。
- ※7. アームの規格は6種類です。
- ※8. アーム規格10~20と25~35とでは、形状(ベースパイプへの取り付け巾)が異なります。
- ※9. 2~3連装で上ケース設定(オプション)の場合です。

1-2 標準設置寸法



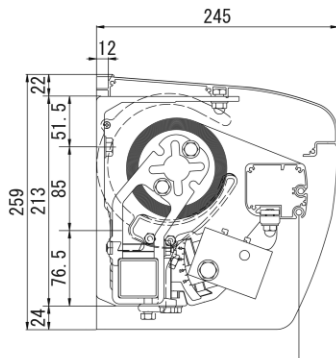
- ※1. この寸法は115~300mmの範囲内で移動可能です。
- ※2. ※1の移動に合わせて、調節して取付けて下さい。なお、規格間口2.5~3.25間用では、500mmで設定して下さい。
- ※3. 巻取サポートは規格間口2.75間より大きいサイズで使用します。また、取り付け位置はキャンバスの中央ウェルダーの部分に取付けて下さい。
- ※4. 補助ブラケットは規格間口1.75間より大きいサイズで使用します。
- ※5. アーム規格10~20で50mm巾、25~35では60mm巾となります。

# 施工手順書

## 1-3 納まり図

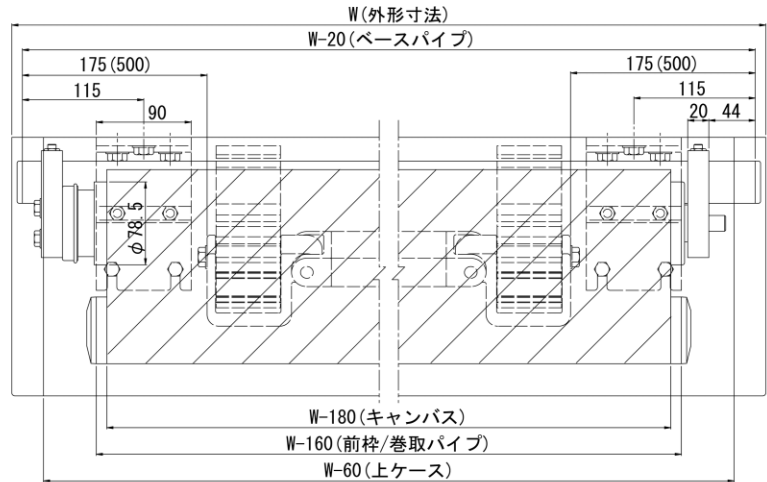
※図は電動タイプです。

[1] 断面図



[2] 平面図

※寸法(500)は2.5~3.25間時

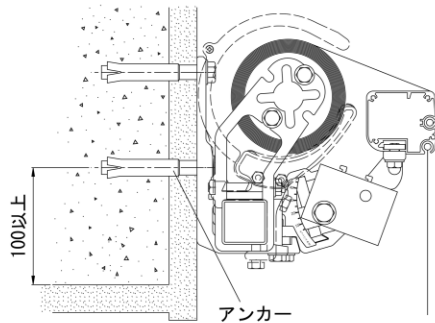


## 1-4 取付けタイプ

※ 取付ブラケットは本体の使用に耐えられる構造体に確実に取付けて下さい。

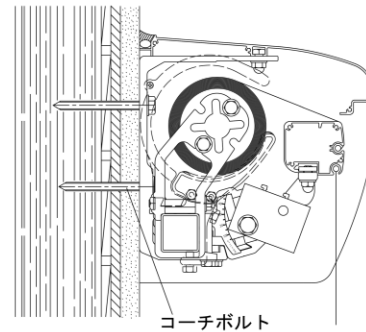
※ 下地金具を用いる場合は、下地金具の強度と取付け部位の強度は本体の仕様に確実に耐えられる金具と方法にして下さい。

[1] コンクリート造壁面納まり



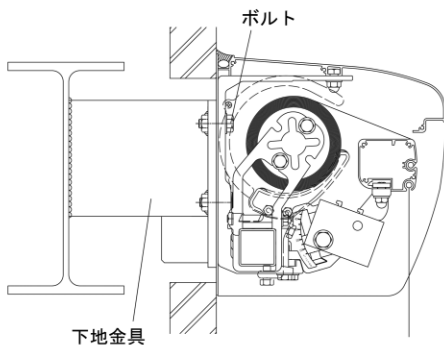
※ アンカー類は躯体の構造に適したものをご使用下さい。

[2] 木造壁面納まり



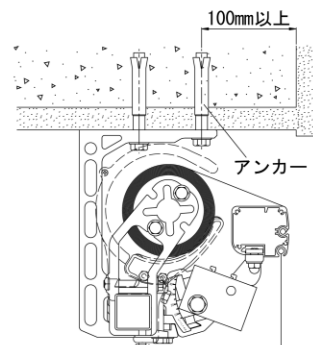
※ コーチボルトは柱、梁等の構造体に直接締結して下さい。  
 ※ 柱は10年以上維持できる十分な強度があり、100<sup>mm</sup>以上の材料(松、桐、檜等)とし、コーチボルトを65mm以上は柱、梁材料に確実にねじ込んで締結して下さい。

[3] ALC造壁面納まり



※ ALC造の場合、必ず構造体の鉄骨から下地金具を用いて取付けて下さい。

[4] コンクリート造天井納まり

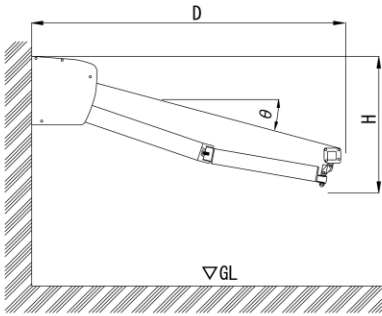


※ コーチボルトによる木造天井面への取付けはできません。  
 ※ 壁面から600mm以上離れている場合、また壁面のない場合等では、天井付用取付ブラケット補強金具を用いて下さい。

## 2

## 仕様

### 2-1 出巾と勾配の関係



勾配寸法表 単位 : mm

アーム 角度	10		15		20		25		30		35	
	D	H	D	H	D	H	D	H	D	H	D	H
15°	1,160	495	1,507	588	1,988	717	2,470	846	2,971	975	3,432	1,104
20°	1,132	583	1,469	706	1,937	876	2,406	1,047	2,894	1,217	3,342	1,388
25°	1,095	668	1,420	819	1,872	1,030	2,324	1,241	2,796	1,451	3,227	1,662
30°	1,051	748	1,362	928	1,794	1,177	2,225	1,426	2,677	1,676	3,089	1,925
35°	1,000	824	1,294	1,030	1,702	1,316	2,111	1,602	2,539	1,888	2,927	2,174
40°	942	894	1,217	1,125	1,599	1,446	1,981	1,766	2,383	2,087	2,745	2,407
45°	879	959	1,133	1,213	1,485	1,565	1,838	1,918	2,210	2,270	2,543	2,623

- の範囲は標準設定外です。屋外で使用すると雨がたまる場合があります。
- ※ 表内の数値は参考値ですので、設置時の目安としてご使用下さい。
- ※ 途中使いをすると雨がたまりやすくなりますので、ご注意ください。

### 2-2 取付け時の注意

[1] 取付け部分の上下に障害物がある場合は、取付け位置に注意して下さい。

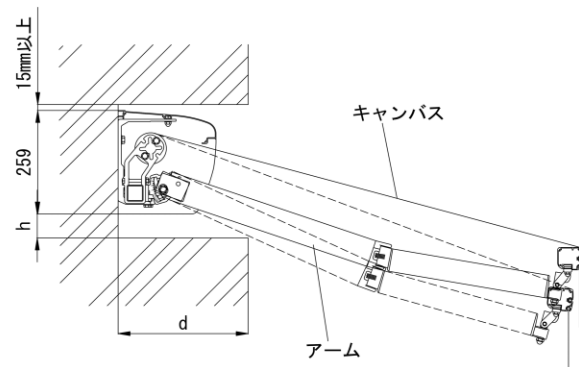
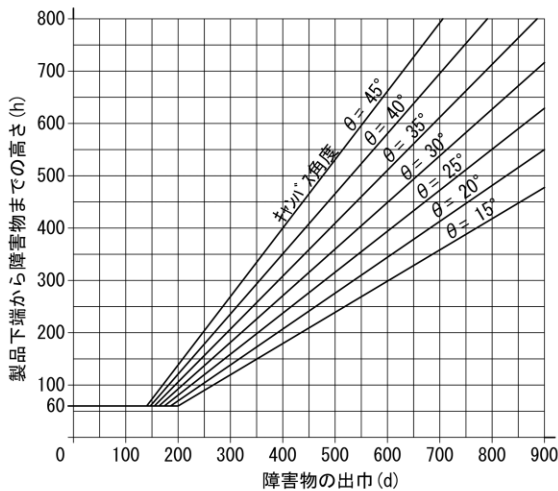
**[上部に障害物がある場合]**

製品上端と障害物下端との間を15mm以上確保して下さい。

**[下部に障害物がある場合]**

製品下端と障害物上端との間をh=60mm以上(電動タイプ時)確保して下さい。

また、障害物の出巾(d)とキャンバス勾配によって高さ寸法(h)は変わりますので、下記表を参考にして下さい。



※ アーム点線は風で吹き下げられた時の位置を表します。

例 : キャンバス角度15°で障害物の出巾(d)が600mmの場合高さ寸法(h)は300mm以上確保。

# 施工手順書

## 3

## 施工

### 3-1 取付けの準備

#### [1] 墨出し

部材寸法に注意し、取付ブラケットのレベル、通りを墨出しして、取付ブラケットの穴位置をけがいて下さい。

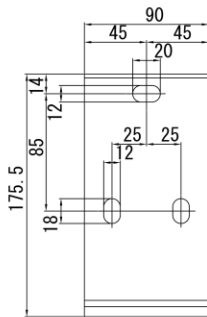
#### [2] 下穴あけ

構造体及び締結部品を確認の上、適した下穴あけを行って下さい。

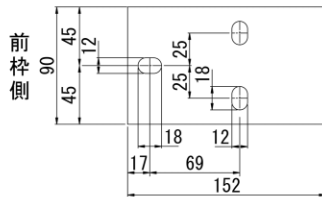
※ アンカーを使用する場合は安全を第一に考えて、十分な強度のある物をご使用下さい。

#### [3] 取付ブラケットの種類

##### ① 壁付用

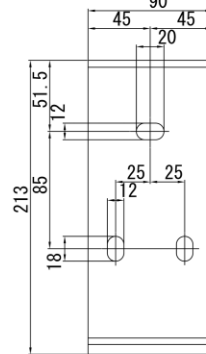


##### ② 天上付用

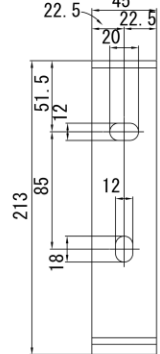


##### ③ 上ケース用

##### ●標準タイプ

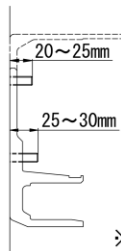


##### ●補助タイプ



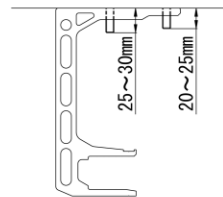
#### [4] ボルト等の取付面からの出寸法

##### ① 壁付用、上ケース用ブラケットの場合



※ 点線は上ケース用取付ブラケットを示します。

##### ② 天上付用ブラケットの場合



※ 表示寸法以内で設置して下さい。表示寸法より長くなると、キャンバスに接触します。

#### [5] 取付け時の注意

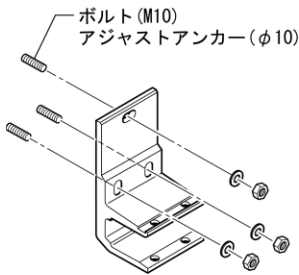
※ 取付ブラケットは所定の位置に所定の数量を必ず設置して下さい。

※ 取付ブラケットは重量、使用に耐えられる構造体に直接取付けて下さい。

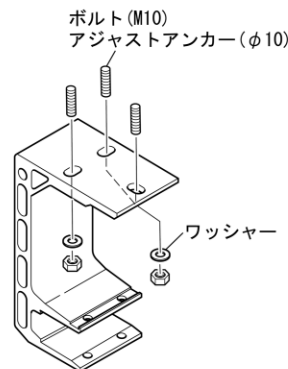
※ 取付ブラケットは壁面に全体を密着させて取付けて下さい。取付け部の変形は事故につながります。

※ 取付ブラケットは必ず水平、垂直を出して取付けて下さい。まがった状態だとベースパイプが設置できなくなります。

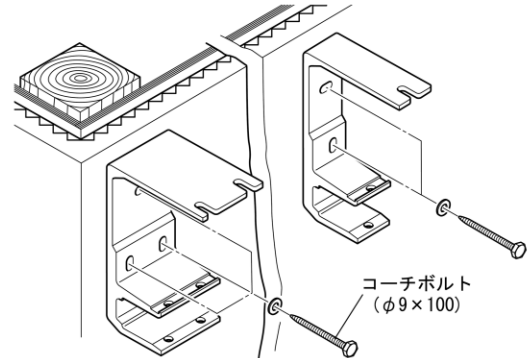
##### ① 鉄筋コンクリート造壁付



##### ② 鉄筋コンクリート造天井付



##### ③ 木造壁付



※ 壁付用取付ブラケットです。

※ 木造の天井付はできません。

※ 図は上ケース用取付ブラケットです。

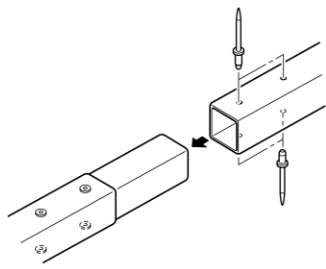
※ 柱は10年以上維持できる十分な強度があり、100口以上の材料(松、楓、檜等)とし、コーチボルトを65mm以上は柱、梁材料に確実にねじ込んで締結して下さい。

#### 参考締結部品一覧表

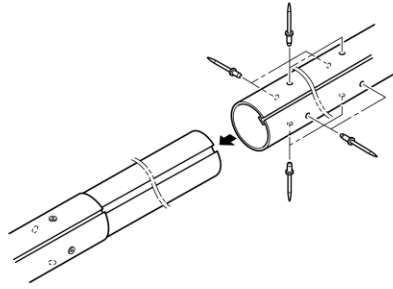
躯体	品種	サイズ	下穴径
木造	コーチねじ	φ9×100	φ6.5
RC打放し	グリップアンカー	M10×40	φ14.5
RC打放し	オールアンカー	M10×80	φ10.5
RC+モルタル等	アジャストアンカー	M10×80	φ15.0

## [6] 連装の場合のジョイント組立

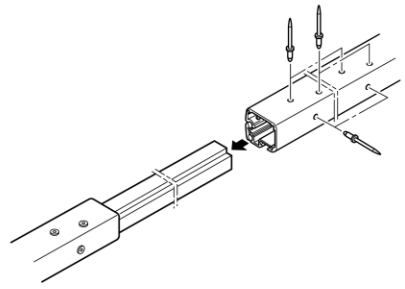
① ベースパイプ



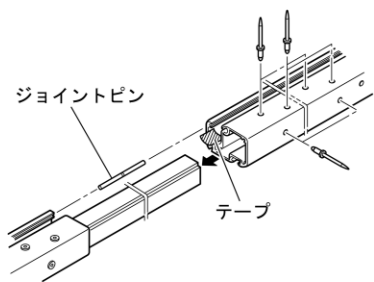
② 巻取パイプ



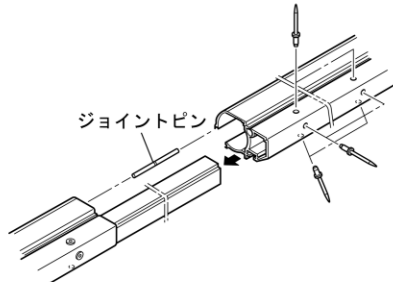
③ 標準前枠



④ 樋付前枠(オプション)



⑤ ローリングシェード前枠(オプション)



※ ジョイント後にジョイントピンをペンチ等でかshめて下さい。

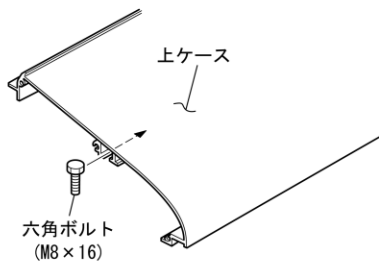
※ 各ジョイントの締結部品は、ステンレスブラインドリベットφ4×10.2を使用して下さい。

(下穴はφ4.2のキリを使用して下さい)

## 3-2 上ケースの取付け

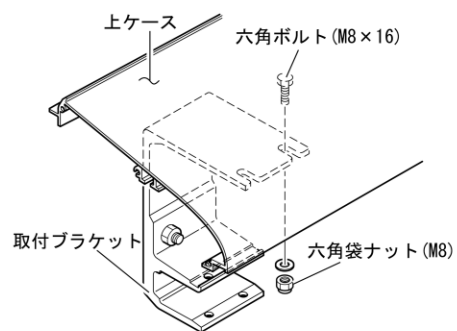
### [1] ボルトのセット

必要数のボルトを上ケースのボルトガイドにセットして下さい。



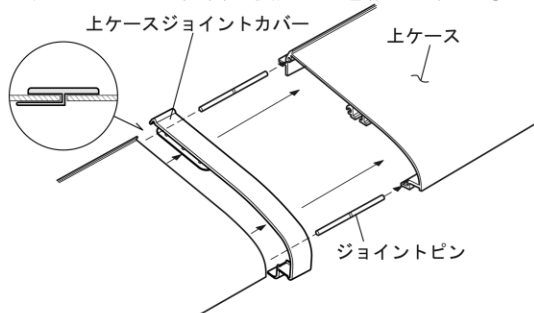
### [2] 上ケースの固定

各ボルトを取付ブラケットの長穴に袋ナットで固定して下さい。



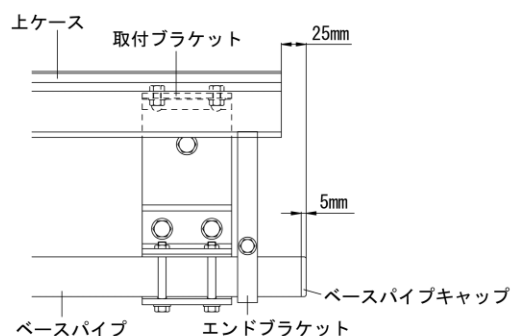
### [3] 上ケースのジョイント

上ケースが分割の場合は、上ケースジョイントカバーをはめ込みジョイントピン(2本)を使用して連結して下さい。



### [4] 上ケースの取付位置

上ケースの固定は、ベースパイプキャップ端部から25mm(に内側に)セットして下さい。



※ 上ケースの設定がある場合は必ず本体を組込む前に取付けて下さい。

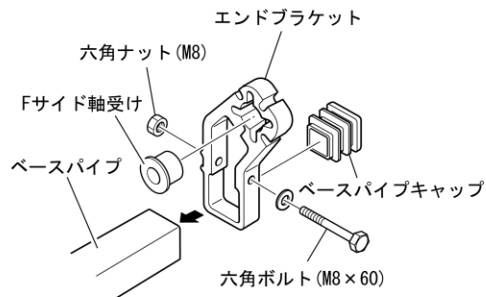
※ 構造上防水性はありませんので雨漏りを防ぐ場合はシール材等を適宜塗布して下さい。

# 施工手順書

## 3-3 ベースパイプの組立

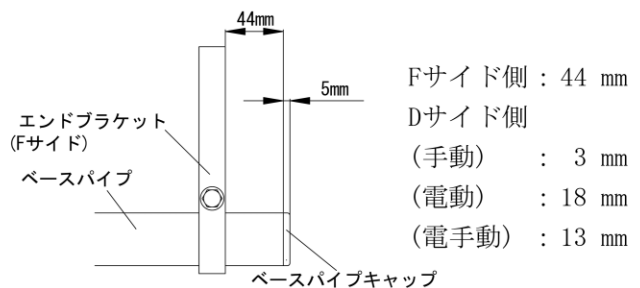
### [1] Fサイドエンドブラケットの取付け

ベースパイプ端部から必ず44mmの位置になる様にセットして下さい。



### [2] エンドブラケットの取付け位置

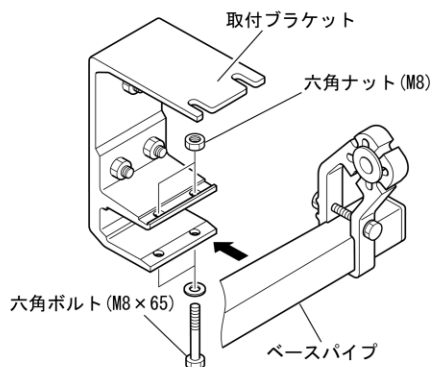
Fサイド側 (巻取パイプ丸軸側) を先に固定します。Dサイド側は機構をセットするまで仮止めにして下さい。



## 3-4 ベースパイプの取付け

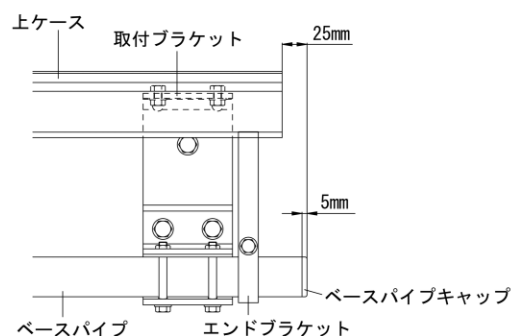
### [1] 取付ブラケットへのはめ込み

取付ブラケットが曲がっていない事を確認してからベースパイプを正面からはめ込んで下さい。



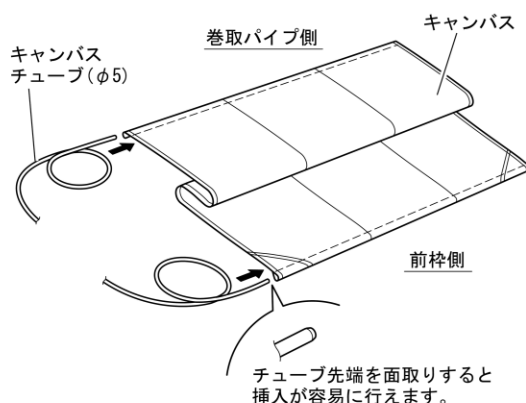
### [2] ベースパイプの取付け位置

上ケース端部より25mm出た位置でベースパイプを固定して下さい。

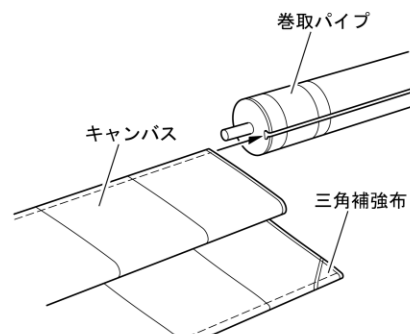


## 3-5 キャンバスの組込

### [1] キャンバスチューブを挿入する。



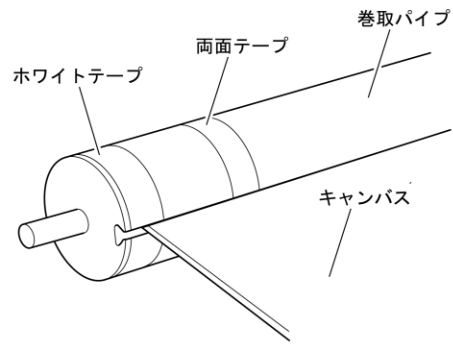
### [2] キャンバスを巻取パイプの溝に挿入する。



※ 三角補強布側が前枠側です。

## [3] キャンバスの固定

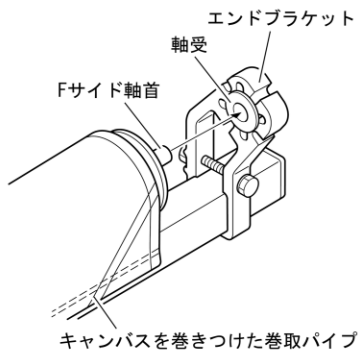
キャンバス挿入後、左右のチリ(10mmずつ)を合わせ、巻取パイプへの巻き付け方向を確認した上で両面テープの保護シートをはがし、キャンバスを巻き付けて下さい。  
※ キャンバスは緩みのない様に巻いて下さい。



## 3-6 巻取パイプFサイド側の取付け

### [1] Fサイド側の設置

Fサイドブラケットの軸受けに巻取パイプの丸軸を挿入して下さい。



※ 巻取パイプの軸首をセットする際、押し込み過ぎると、エンドブラケットが斜めになる可能性がありますので注意して下さい。

### [Fサイド側を右から左側に変更させたい場合]

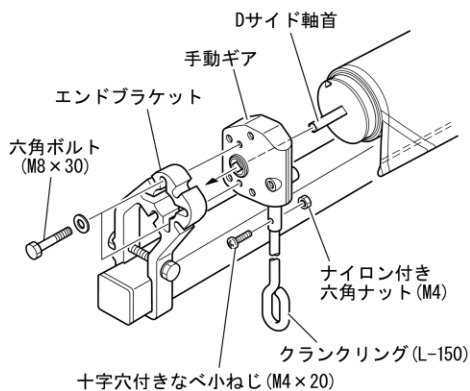
キャンバスを巻取パイプからほどき、巻取パイプの左右を逆転させてから再度キャンバスをセットし、巻き付け直します。

※ キャンバスの取り扱いには、汚れや破れ等に注意して下さい。

## 3-7 巻取パイプDサイド側の取付け

### [1] 手動タイプの場合

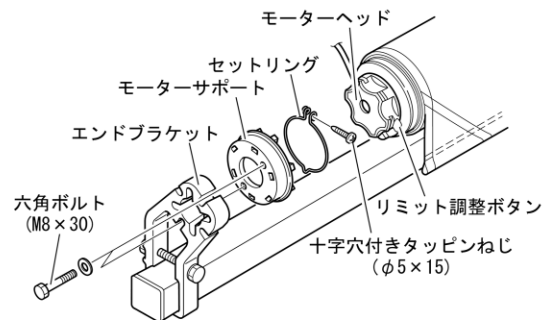
手動ギアとDサイド軸首との間に2mmほどのスキ間をとって下さい。



※ 手動ギアの取付け向きを逆になるとギアがロックせず巻取パイプが回転してしまい危険です。  
※ エンドブラケットが斜めになっていると、ギアに負荷がかかり逆転防止機能が働き、張出しができなくなる可能性がありますので注意して下さい。

### [2] 電動タイプの場合

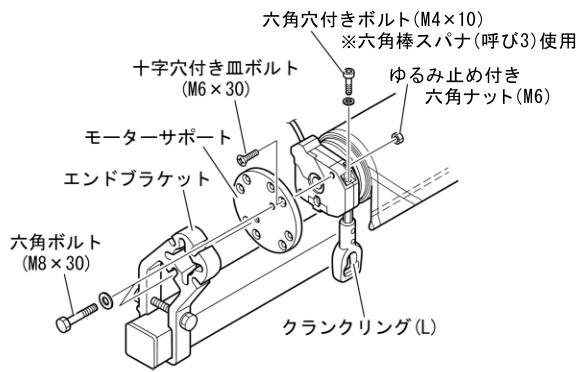
リミット調整ボタンが前枠側の斜め下方向になるようセットして下さい。



※ セットリングはモーターサポートにセットした状態でモーターヘッド部分にはめ込みます。タッピンねじ取付け部分を手で押し開いてやるとはめ込みやすくなります。  
※ モーターの巻取パイプへの着脱方法はテクニカルマニュアル又はコントロールマニュアル等を参照して下さい。

# 施工手順書

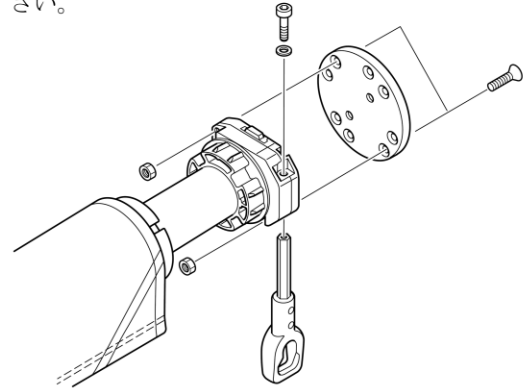
## [3] 電手動タイプの場合



※モーターの巻取パイプへの着脱方法はテクニカルマニュアル又はコントロールマニュアル等を参照して下さい。

## [モーターを左から右側に入れ替える場合]

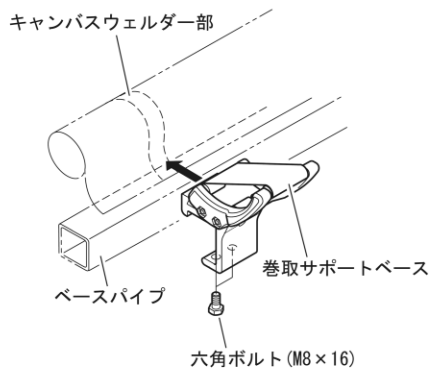
クランクリング及びモーターサポートを入れ替えて下さい。



## 3-8 巻取サポートの取付け ※間口3.0間以上

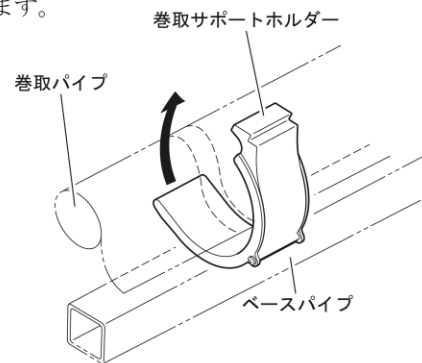
### [1] 巻取サポートベースの取付け

キャンバス中央のウェルダ位置に合わせて固定します。



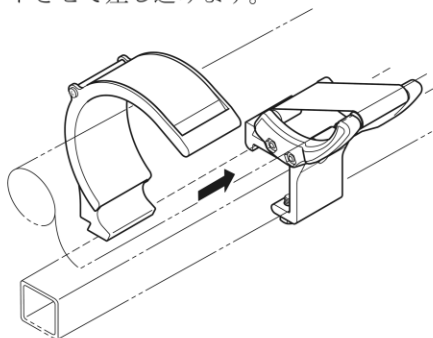
### [2] 巻取サポートホルダーのセット

巻取パイプとベースパイプの間に差し込み、半回転させます。

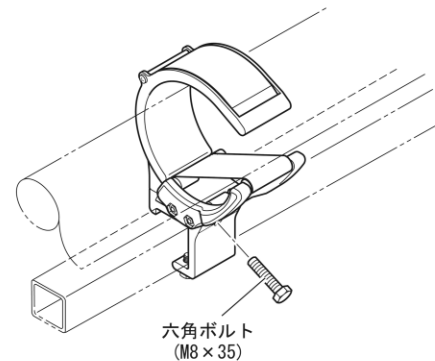


### [3] 巻取サポートベースとホルダーの組立

巻取サポートホルダーを巻取サポートベース横からスライドさせて差し込みます。

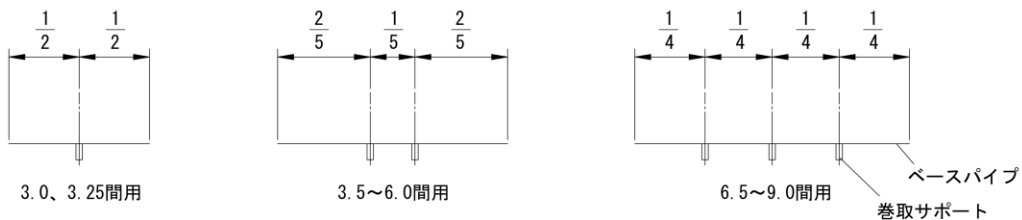


### [4] 巻取サポートホルダーの固定



### [5] 巻取サポート設置寸法

図は目安です。寸法近くのキャンバスウェルダ一部に設置して下さい。



※ 巻取サポートと取付ブラケットの取付位置が重なる場合は、巻取サポートの位置を優先して下さい。

※ 巻取サポートは所定の数量を必ず用いて下さい。

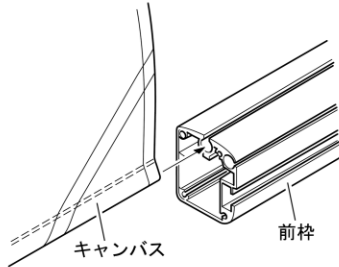


## 3-9 前枠の取付け

※ 樋付前枠、ローリングシェード前枠も同じ要領となります。

### [1] キャンバスのセット

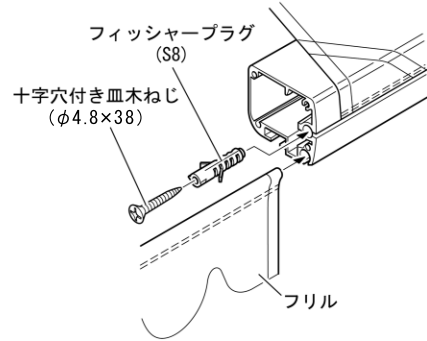
チューブがセットされたキャンバスを前枠に挿入する。



※ キャンバスチューブはフィッシャープラグ分、短く切っておいて下さい。

### [2] キャンバスと前枠の固定

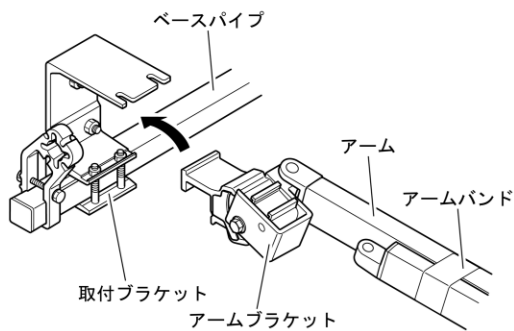
左右のチリ(10mmずつ)を合わせてからフィッシャープラグで固定します。



## 3-10 アームの取付け

### [1] アームブラケットのセット

ベースパイプに対してアームを直角にして取付けます。

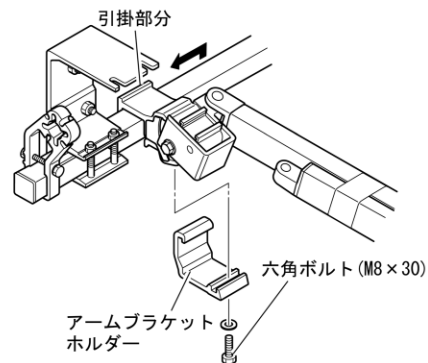


※ アームバンドは前枠とアームを固定するまでは、はずさないで下さい。

※ 取付け位置は、1・2 ページを参照して下さい。

### [2] アームブラケットホルダーの取付け

アームブラケットの引っ掛け部分に横からスライドさせ、引っ掛けてから固定します。



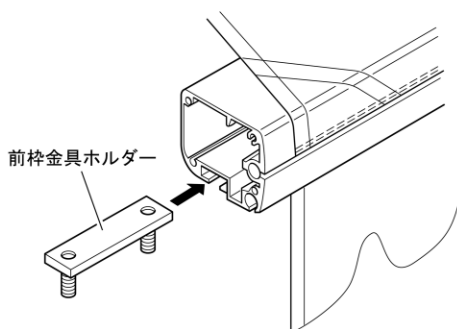
※ 現場状況により建物と壁とのスキ間が狭い場合はベースパイプを手で引っ張りながら行って下さい。

## 3-11 前枠の組立

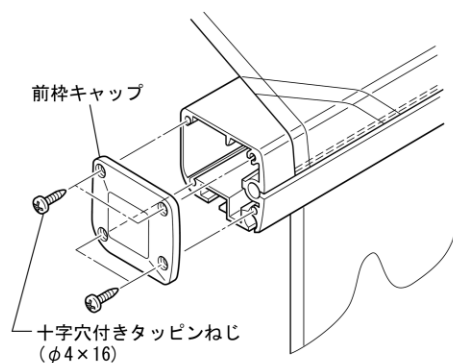
※ 樋付前枠、ローリングシェード前枠も同じ要領となります。

### [1] 前枠金具ホルダーのセットする。

アーム本数と同数の前枠金具ホルダーを前枠にセットして下さい。



### [2] 前枠キャップを両サイドに取付ける。

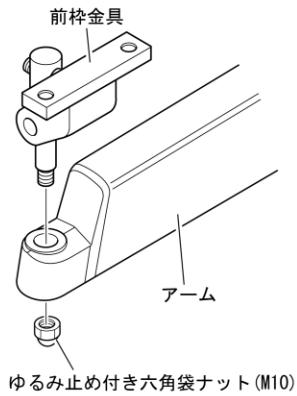


# 施工手順書

## 3-12 前枠金具の取付け

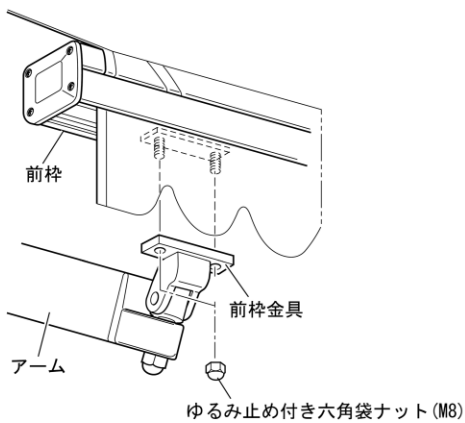
### [1] 前枠金具のセット

アーム先端の穴に前枠金具をはめ込み固定します。



※ アームバンドを外す時は十分注意して下さい。強いスプリングでアームが伸びるので、しっかり手でおさえて下さい。

### [2] 前枠とアームの仮固定



### [3] 仮固定位置 ※単装時

前枠型材端部から前枠金具の芯寸法です。

10アーム時	:346mm
15、20アーム時	:276mm
25、30、35アーム時	:286mm

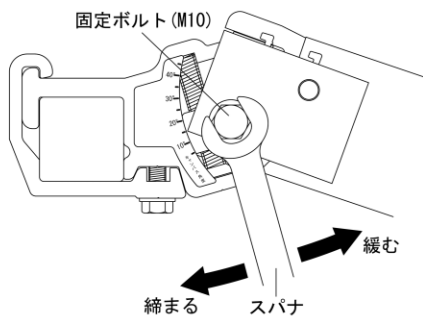
※ あくまでも仮固定位置ですので必ず微調整が必要となります。

※ 上記の寸法は標準的なアームブラケット取付け位置(ベースパイプ端部から175mm)での寸法となります。

## 3-13 アーム角度の調整

### [1] 固定ボルト

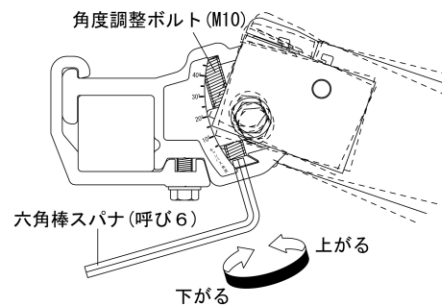
調整を行う前に、アームブラケット側面の固定ボルトを緩め、調整完了後、締め付け直します。



※ スパンナを回す際は、アームを支えながら(持ち上げながら)行うか、アーム(前枠)が収納された状態で行って下さい。

### [2] アームの上下方法

六角棒スパナを下穴にセットして回します。

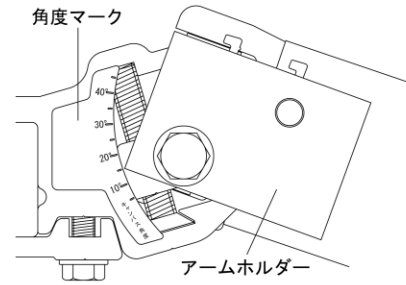


※ 六角棒スパナを回す際は、アームを支えながら(持ち上げながら)行うか、アーム(前枠)が収納された状態で行って下さい。

## [3] アーム角度の目安

アームブラケット側面の角度マークがキャンバスの角度となり、左右のアームを同じに設定します。アームホルダーの角を目盛りと合わせます。

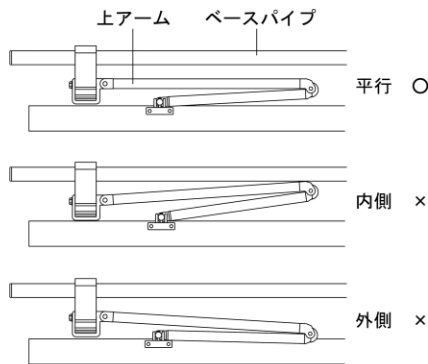
※ アームのサイズ、個々によって多少異なります。微調整は前枠の水平を確認しながら行って下さい。



## 3-14 前枠金具の調整

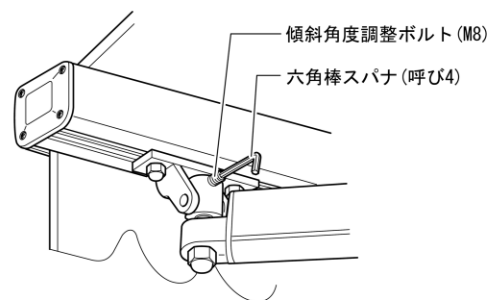
### [1] 前枠金具の位置調整

前枠金具を左右に移動させ、前枠が収納された時点でベースパイプと上アームが平行になるよう調整して下さい。

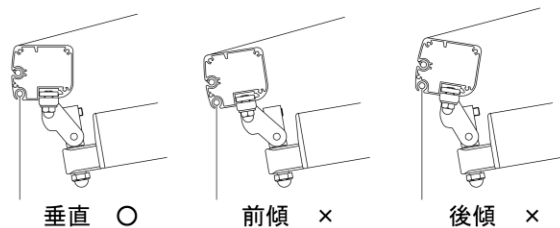


### [2] 前枠の傾斜調整

アーム角度の設定後、前枠の傾きを調整します。



※ 下図の垂直状態は収納された時のものです。

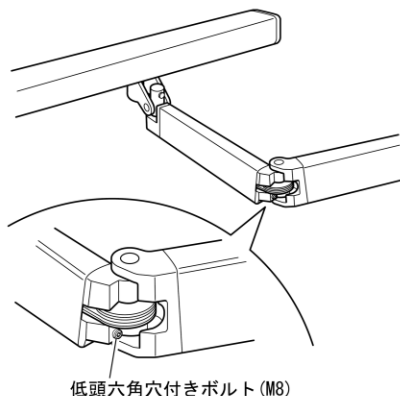


## 3-15 アームテンションの調整(参考)

アームテンションは工場出荷時に予め調整を行っておりますが、状況によってテンションを弱めたい場合などは、下記の要領で調整を行って下さい。

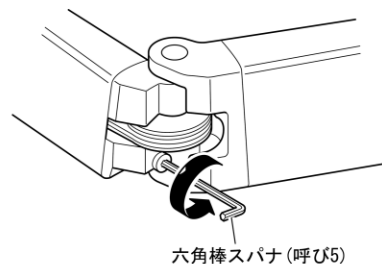
### [1] 調整ヶ所

テンション調整はアームエルボ部分の低頭六角穴付きボルトで行います。



### [2] 調整方法

テンションを弱くするには、低頭六角穴付きボルトを出す方向(左回し)で調整します。



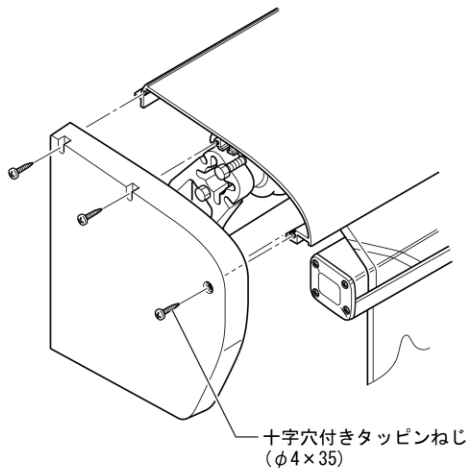
※ 低頭六角穴付きボルトの標準設定位置は全て締め込んだ状態です。

※ ボルト頭が接触するまでアームが伸びると、キャンバスがたるみますので、その前で止めて使用して下さい。

# 施工手順書

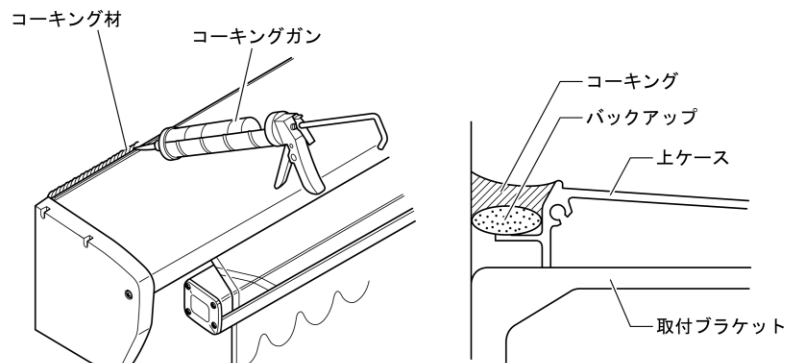
## 3-16 側板の取付け

上部3ヶ所、ビス止めして下さい。



## 3-17 コーキング

建物と上ケースの間をコーキングして下さい。



※ 施工状況に応じてバックアップ材をご使用下さい。

## 3-18 完全組込製品の取付け

### [1] 完全組込の範囲

単装間口 W2,045mm(1.0間用)～W5,965mm(3.25間用)に限ります。

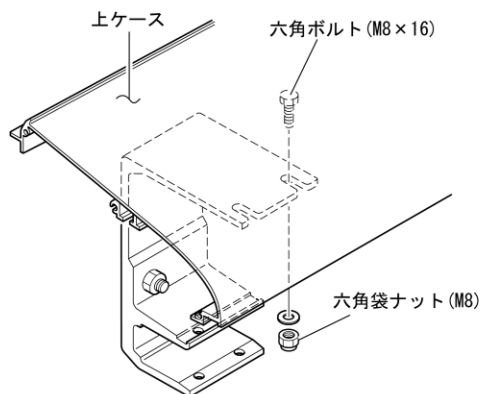
### [2] 組み込まれないで出荷されるもの

- ① タイプ別 手動タイプ : 手動ギアボックスのクランクリング、ハンドル  
電動タイプ : スイッチ、ジョイントボックス  
電手動タイプ : スイッチ、ジョイントボックス、CSモーター用クランクリング、ハンドル

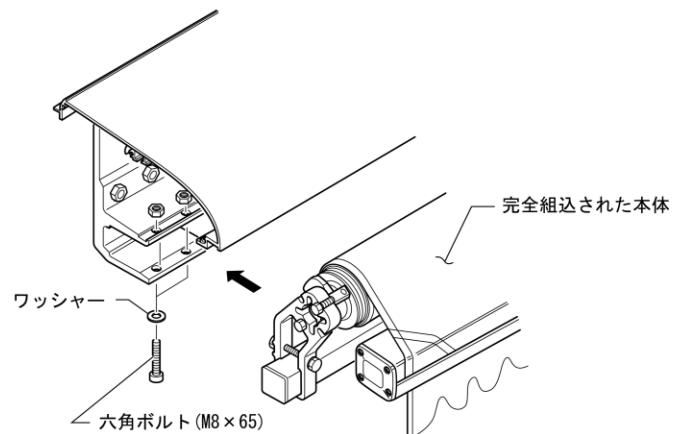
- ② 共通部品 取付ブラケット、上ケース(オプション)、ケース側板、巻取サポート(3.0間用以上)。  
※ ケース側板は上ケースのセット部品です。

### [3] 取付手順

- ① 4ページの取付けの準備に従い必要数の取付ブラケットを取付けて下さい。
- ② 上ケースの設定のある場合は、本体を取付ける前に上ケースを取付ブラケットに固定して下さい。
- ③ 組込まれた本体を取付ブラケットにはめ込み、ボルト・ナットで固定して下さい。



※ 上ケースの取付けは5ページを参照して下さい。  
※ 上ケースがない場合は、壁付用または天井付用取付ブラケットの設定となります。



- ④ 上ケースの設定がある場合は、ケース側板を取付けて、建物と上ケースの間をコーキングして下さい。

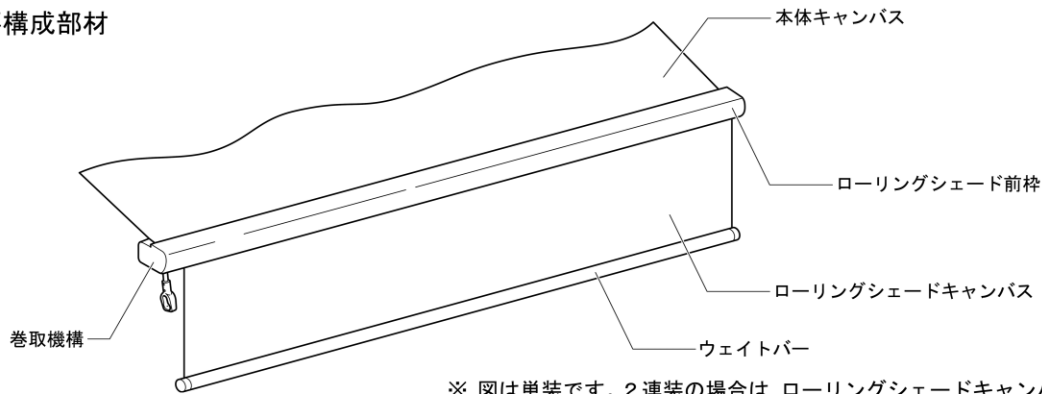
## 3-19 ローリングシェード(オプション)の設定と組立

### [1] 設定範囲

間口規格	キャンバス	ウェイトバー	機構	備考
単装	2,045~5,965	1本	左または右	
2連装	5,966~11,170	2分割	左右両側	

※ 2連装の分割した片側の最大間口は単装の範囲とする。

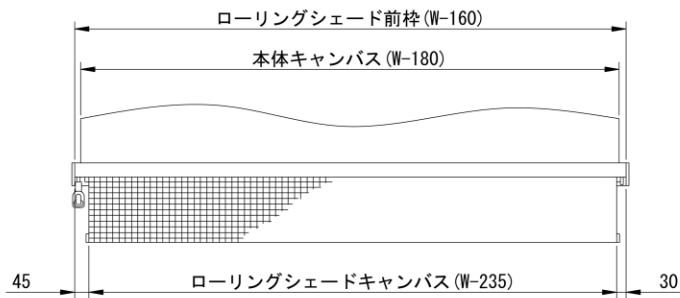
### [2] 主要構成部材



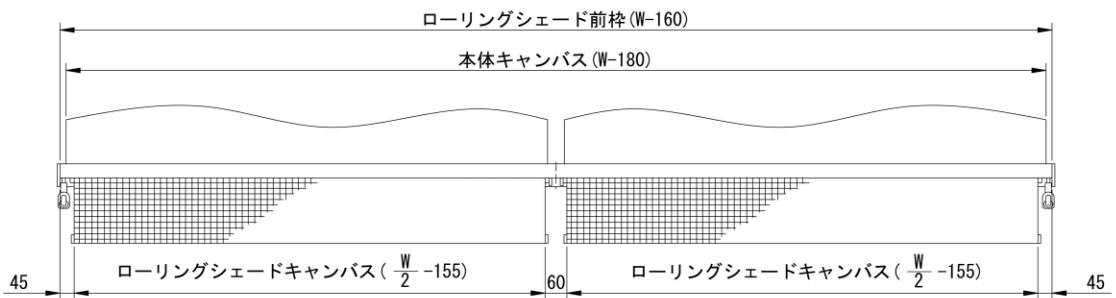
※ 図は単装です。2連装の場合は、ローリングシェードキャンバスとウェイトバーが2分割になり、巻取機構が両サイドになります。

### [3] 標準構成寸法

#### ① 単装

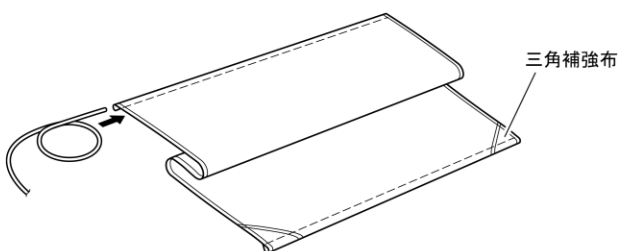


#### ② 2連装



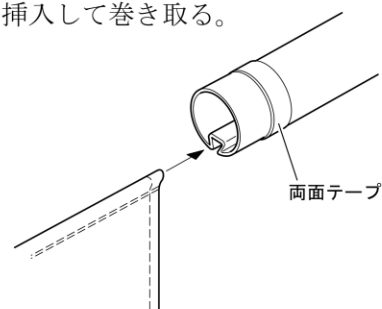
### [4] ローリングシェードの組立

① キャンバスの巻取パイプ側にチューブを挿入する。



※ 三角補強布側がウェイトバー側です。

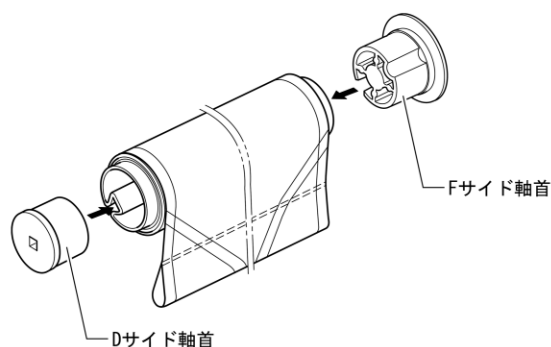
② ローリングシェード巻取パイプにキャンバスを挿入して巻き取る。



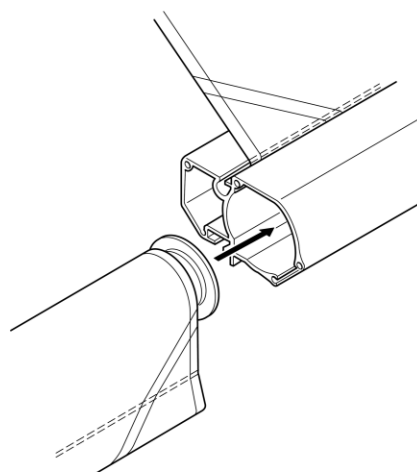
※ 挿入後キャンバスの左右のチリを合わせて両面テープに圧着して下さい。

# 施工手順書

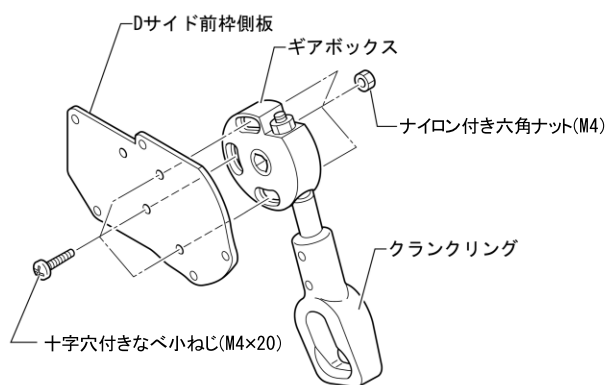
- ③ 軸首を取付ける。  
操作側にDサイド軸首を取付けて下さい。  
Dサイド軸首は角穴があいた方です。



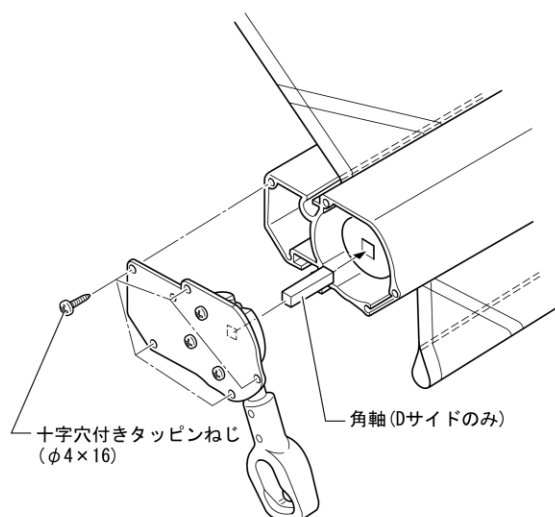
- ④ 前枠に巻取パイプを挿入する。



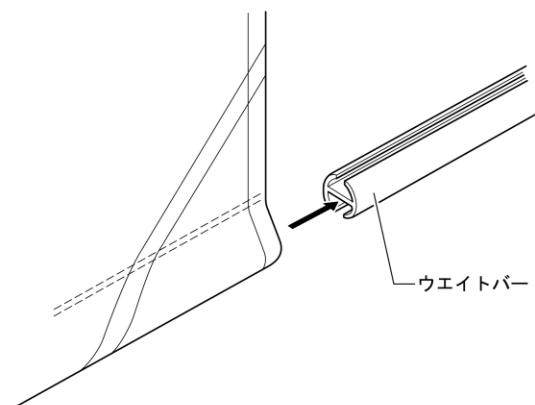
- ⑤ ギアボックスを取付ける。  
Dサイド前枠側板にギアボックスを取付けて下さい。



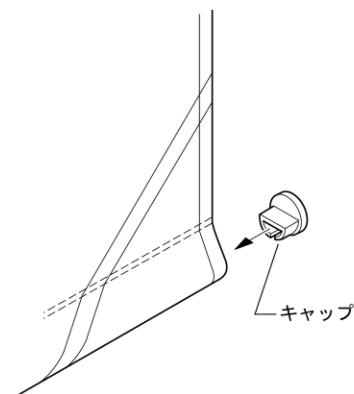
- ⑥ 前枠側板を前枠に取付ける。  
Dサイド軸首とギアボックスに角軸を入れて下さい。



- ⑦ ウェイトバーを取付ける。  
ウェイトバーをキャンバスに挿入して下さい。



- ⑧ ウェイトバーキャップを取付ける。  
キャップはたたき込み式です。



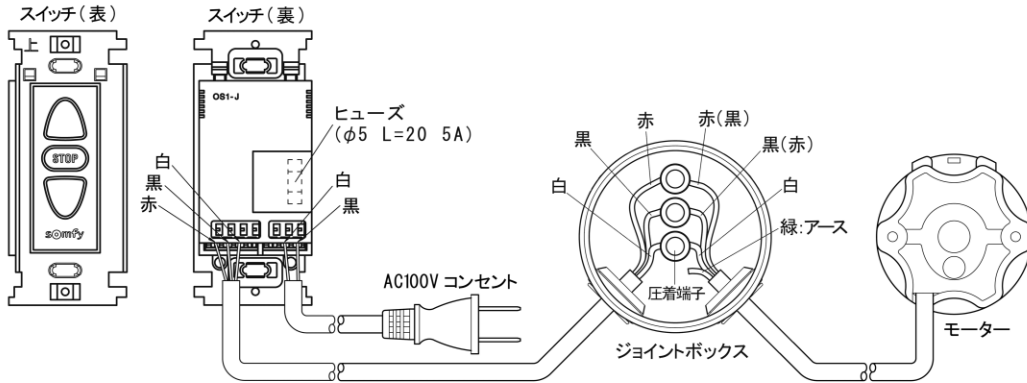
## 4

## 結線システム

### 4-1 標準スイッチ

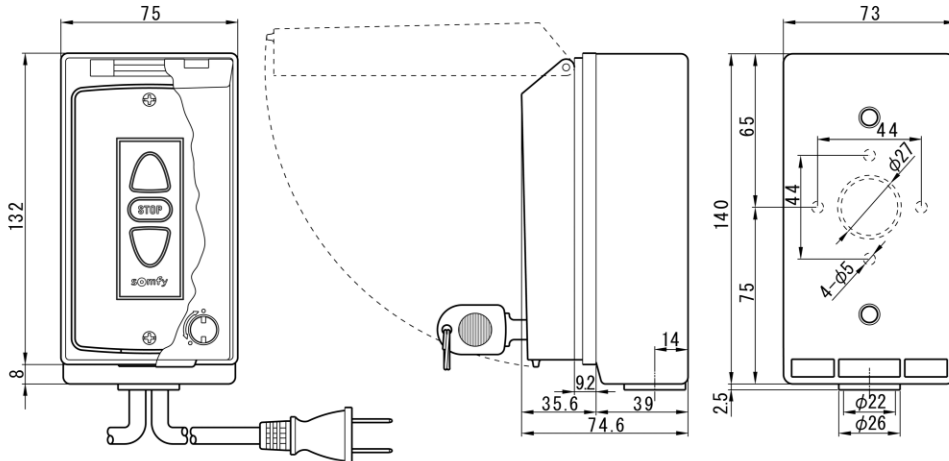
#### [1] 結線

電動(電手動)タイプの製品1台を標準スイッチで操作する場合の方法です。



- ※ 本図はモーターが左付けの場合です。右付けの場合はジョイントボックス内で( )の様に結線して下さい。
- ※ スイッチは防水構造ではありませんので、直接雨のかかる場所への設置は避け下さい。
- ※ 標準スイッチで複数のモーターを動作させる事はできません。
- ※ モーター線の緑コードはアース線です。現場の状況に応じた設置方法をお取り下さい。
- ※ スイッチにはアース線のつなぎ込みが可能な端子(サージアブソーバ専用)が設けられております。

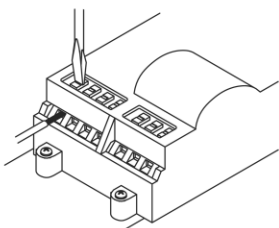
#### [2] 外観図



付属品: 開閉シール(各1枚)/鍵(2個)/電源プラグ付コード(3m)/モーター配線コード(5m)  
ジョイントボックス(1ヶ)/圧着端子(3ヶ)

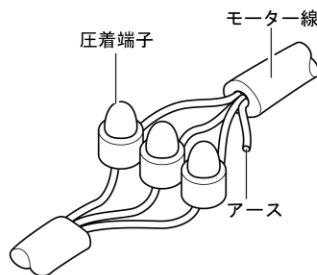
#### [3] スイッチとコードの接続

より線を接続する場合、マイナスドライバーで端子ボタンを押したまま配線コードを差し込みます。単線の場合、差し込むだけで接続が可能です。接続後は配線コードをかるく引張り、抜けない事を確認して下さい。



※適合電線範囲はφ1.0~φ1.6mmです。  
※コード長さ(皮膜ムキ)は9mmです。

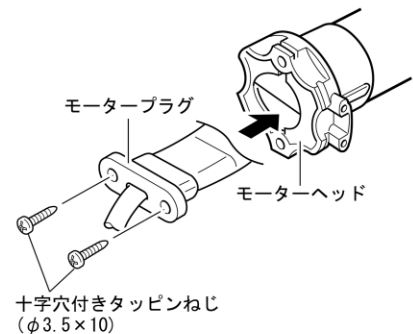
#### [4] ジョイントボックス内の接続



※モーター線のアースは現場の状況に応じた処置を施して下さい。

#### [5] モータープラグの脱着

モーター交換時に差し替えが可能です。



※電手動タイプのモーターではプラグの形状が異なります。

## 5

## 施工後のチェック項目

施工後に必ず動作確認を行い、その後下記の項目をチェックして下さい。

点検ケ所	チェック項目	参考ページ
取付ブラケット	ブラケットの取付けに適正締結部品を使用したか	2、4
	ねじのゆるみ、締め忘れはないか	4
	ベースパイプ固定用ボルトの増締めをしたか	6
	上ケース付きの場合、補助ブラケットを使用したか(間口規格2~3.25間用、4.5~6間用、7~9間用)	テクニカル マニュアル
	壁付・天井付の場合、取付ブラケットを中央にも設置したか(間口規格3~3.25間用)	〃
エンドブラケット	Fサイド側の取付け基準位置は適正か	6
	F・Dサイド共にエンドブラケットは斜めになっていないか	6
	正面から見て手動ギアが斜めになっていないか(手動タイプ時)	7
	モーターサポートの取付けは問題ないか(電動・電手動タイプ時)	7、8
巻取パイプ	軸受けと軸首のすき間は1~2mmになっているか	7
	Fサイド軸首はリベット固定されているか	7
	Dサイド軸首はリベット固定されているか(手動タイプ時)	7
	駆動輪はリベットで固定されているか(電動・電手動タイプ時)	コントロール マニュアル
	キャンバス固定用の両面テープを忘れずに貼ったか	7
	キャンバスの左右のチリは同じか	7
	巻取パイプのジョイントは確実に行われたか(2連装、3連装時)	5
前枠	前枠金具の位置、締め付けは確実か	10、11
	キャンバスはフィッシャーブラグで固定したか	9
	キャンバスの左右のチリは同じか	9
	キャンバス張出し時、前枠のレベルは水平か	10、11
	収納時、前枠は垂直に収まっているか	11
	前枠型材のジョイントは確実に行われたか(2連装、3連装時)	5
	樋付前枠のジョイント部分にシールを貼ったか(2連装、3連装時の樋付前枠設定時)	5
	ローリングシェードのキャンバスはスムーズに開閉するか(ローリングシェード設定時)	13、14
アーム	アームブラケットの取付け方法及び位置は適正か	1、9
	アームのサイズ別適正角度で設定したか。またボルト(M10)は確実に締め付けたか	3、10
	アーム収納時、アームのひじ部分が巻取パイプに巻かれたキャンバスに接触していないか	11
	アームブラケットホルダーの固定ボルトは確実に締め付けたか	9
	キャンバス張出し時、アームエルボ部の低頭六角穴付きボルトの頭が接触していないか	11
	アームは必要本数また適正な位置に設置されているか	テクニカル マニュアル
巻取サポート (間口規格3間用以上)	ベースパイプにしっかり固定されているか	8
	巻取サポートの上側と下側は固定されているか	8
	キャンバスのウエルダー部に納まっているか	8
	巻取サポートは適正な数が設置されているか	8
上ケース (オプション)	上ケースの固定ボルトは確実に締め付けたか	5
	上ケースはベースパイプ、前枠等と平行に設置できているか	2、5
	取付け面(壁面)と上ケースの間にコーキングをしたか	12
	上ケースのジョイントは確実に行われているか(2連装、3連装時)	5
その他	キャンバスのたるみ、シワ等はないか	6、7
	手動ギアの取付け向きは適正か(手動タイプ時)	7
	手動ギアの逆転防止機能は問題ないか(手動タイプ時)	7
	クランクリングの固定ボルトを確実に締め付けたか(手動・電手動タイプ時)	7、8
	クランクハンドルは適正な長さのものが設定できているか	テクニカル マニュアル
	モーターのリミット調整による停止位置は適正か(電動・電手動タイプ時)	コントロール マニュアル
	キャンバスの開閉方向とスイッチの開閉表示とが合っているか(電動・電手動タイプ時)	15
	屋外配線のコードはU字結線されているか(電動・電手動タイプ時)	コントロール マニュアル
取扱いの注意を説明し説明書を手渡し、施工完了書にサインを受けたか	取扱説明書	



株式会社テンパル 本社/〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-9-12  
 東京 ☎ 03(5925)6573 横浜 ☎ 045(271)1151  
 大阪 ☎ 06(6264)5569 福岡 ☎ 092(433)6835  
 名古屋・広島・高松・鹿児島・仙台

**テンパル**

●改良のため予告なく製品の仕様を変更する事がありますので予めご了承下さい。  
 ●表示内容は2010年9月現在のものです。 ●発行/初刷2003年9月、6刷2010年9月